



大人の存在意義

南流中正門に面するA棟の校舎。1年生が生活するその校舎3階から見える東京スカイツリーは、ご存じの通り、高さ634メートルで自立電波塔としては世界一を誇ります。南流中から直線で約20kmの距離にあるこの電波塔ですが、晴れ間が多くたった2月中は、その見事な立ち姿はもちろん、展望台の回転する照明までくっきりと見ることができました。東京のランドマークとしてすっかり観光名所になったこの建物。

しかし、この地が、今から80年前の昭和20年3月9日夜から10日未明にかけての「東京大空襲」で、被害の中心地であった事実は、その光り輝く凜々しい建物のイメージとは、なかなか一致しません。

その日の夜、アメリカ空軍のB29型爆撃機が、東京の下町を中心に焼夷弾を投下。一夜にして浅草などの下町地域が焼き尽くされ、死者は約10万人、焼け出された人は100万人にのぼるとされています。

現在、90歳になる私の母は当時、小学5年生。松戸に住んでいました。3月10日の朝、東京方面を見ると、空が恐ろしく真っ赤で、ただただ震えるばかりだった、という話を母から聞いたことがあります。要介護4で、月曜から金曜までショートステイを利用している母ですが、元気な頃はさかんに「戦争はね、どんなことがあってもね、絶対だめよ」と強く言っていたものでした。

我々の父母や祖父母、曾祖父母までさかのぼったとき、戦争から全く影響を受けなかった方は、誰もいないと思います。困難な時代を懸命に生き抜いてくださったお陰で、今の我々の命があります。そんな多くの犠牲者を出した太平洋戦争から間もなく80年が経過します。

南流中の歴史はその約半分の42年。移転してからはまだ1年が経過したばかりです。毎朝、組曲「ペルギュント」-朝の爽やかなメロディで始まる平和な南流中は、この2月も子ども達の活躍にあふれています。男子バレー部の葛北1年生大会優勝、3年生最後の学年末試験、ハンドボール部や男女バスケ部1年生大会での活躍、1・2年生の学年末試験、野球部東葛大会快勝、全国学校空手道コンクール2年6・7組女子の競技部門1位、3年生最後の学年レク。そしてそれらをつなぐ日々の授業や清掃、給食、3年生を送る会への取り組みなど……。南流中の子ども達は一つ一つに決して手を抜くことをしません。

それでは、私達大人は唯一無二の存在である、目の前のこの最高の子ども達に、何を残してあげられるでしょうか。お金でしょうか。高価な品物でしょうか。豊かな生活でしょうか。

私は曖昧かもしれませんのが、それは我々の心だと思うのです。我々の生きる姿だと思うのです。子ども達はいつか必ず、一人で生きていかなければならない日がやって来ます。その時に自信をもって前に進める原動力を与えるのが我々の役目です。

中学生になると、大人から見ると屁理屈を言ったり、理解できない行動をとったりすることがあります。でも、我々もかつては皆、大なり小なりそうだったのです。それでも寄り添い、常に応援してくれた大人がいた。大丈夫、お前ならできる、絶対やれる、根拠はないかもしれないけれど、とことん信じて常に見守ってくれた大人がいたのです。子どもにとって見守られていることの心強さは何物にも代えられません。

本校の学校教育目標の「笑顔・信頼・自立」の3つ目の「自立」。これは「はい、今日から自立ですよ」「大人は何もしませんから、君たちで考えなさい」「好きなことをやりなさい」「自由にやりなさい」と言わば突き放し、委ねることで完了するものではありません。その方が大人にとっては楽です。でも、将来に不安を抱え、これから的人生でも困難や糺余曲折が待ち受けているはずの中学生に、我々大人が真剣に関わり続けることが絶対に必要だと私は思います。大人の押しつけでなく、子ども達と一緒に考え続け、そして我々の思いも伝え続ける必要があるのです。そうでなければ、大人の存在意義はありません。

最終的に子ども達が大人の手助け無しで前に進むとき、大人がどう関わってくれていたかを思い出すのです。そして、今どうすべきか判断するのです。だからこそ、学校や家庭では、そのための生きる材料を充分に与え続ける必要があると思います。その過程では壁にぶち当たったり、失敗したりすることは当然あり得ます。でも、それが勉強であり、そこから何を人生の教訓として学んでいくかが大切なのです。

まとめとして一日一日が重要な3月も、我々教職員一同、「笑顔・信頼・自立」の学校教育目標のもと、南流中の大切な子ども達の成長のため、一致団結して日々の教育活動に邁進します。

保護者・地域の皆様方、一年間のご支援に心から感謝申し上げますとともに、今後も引き続き「チーム南流」の大好きなメンバーとして、ご理解・ご協力のほど、どうかよろしくお願ひいたします。

校長 宮本 信一

○第2回全国学校空手道コンクール競技部門で第1位！！



2月21日、午後1時より東京辰巳の日本空手道会館にて「第2回全国学校空手道コンクール」(主催:公益財団法人 全日本空手道連盟)が開催されました。25チーム出場の映像による1次審査を突破、見事に競技部門で決勝進出を果たした本校2年6・7組女子チーム。

同部門、最終3組目に登場した本校女子チームは、強弱、流れるような動き、緩急、立ち方、回転の仕方、上下のバランス、左右の連動、一つ一つの技の極め、一致性などの審査基準を次々にクリアしていきます。体育の授業から始まり、麗澤大学の井下先生や空手道元世界チャンピオンの岩本先生をお招きして特別練習を重ねた子ども達。全員が心一つに作り上げてきた自信の演武を披露してくれました！！得点は決勝3チーム中トップの合計110点。2位以下に大差をつけて、見事日本一に輝きました！！そして南流中としても昨年に引き続き2連覇達成！！

3月 の予定表

日 時	行 事 予 定	最 終 下 校 時 刻
4日(火)	千葉公立合格発表・3年給食なし	17:15
5日(水)	部活動休養日・作家・喜多川泰先生講演会(午後)	15:30
7日(金)	1・2年生合同卒業式練習	17:15
11日(火)	卒業式予行練習(午後)	15:40
12日(水)	部活動休養日・卒業式準備	15:40
13日(木)	第42回卒業証書授与式・部活動休養日	12:00
14日(金)	卒業式片付け(朝)	17:15
18日(火)	部活動休養日・1・2年授業参観、保護者会 給食最終日	14:15
19日(水)	給食なし・部活動お弁当	11:45 部活動下校 15:00
20日(木)	春分の日	
21日(金)	給食なし・大掃除・部活動お弁当	11:45 部活動下校 15:00
24日(月)	部活動休養日・修了式・辞校式	11:15
25日(火)	春季休業(～4月6日)	

*3月13日(木)の卒業式は、1年生は参列をしませんが、朝の8:15にオンラインで登校の確認をしますので、よろしくお願ひします。

*3月18日(火)の1・2年生の授業参観は、以前にスキットメールでお知らせした通りに、2年生が第1体育館で、1年生が第2体育館で、学年授業参観を行います。受付は、各、体育館になりますので、よろしくお願ひします。

*3月24日(月)の辞校式に参加したい卒業生は、卒業前の担任の先生の指示に従って、来校してください。